

令和7年度 学校評価結果の報告書

四国中央市立北小学校

1 自己評価について

(1) 教職員による自己評価（7月前期・1月後期）

7月、1月に全教職員による自己評価（学校評価）を実施した。結果の考察は、各校務分掌の責任者で分担して行い、全教職員で成果と課題・改善策について話し合うことで、その後の改善につなげるようにした。また、その改善策をまとめたプリントを作成し、周知徹底を行った。

年度末の評価結果（％）は、別紙（資料1）のとおりである。

(2) 保護者による教育活動アンケート調査（1月初旬）

保護者に対するアンケート調査は今年度で17年目になる。毎年3学期に実施し、次年度の取組に生かしている。

調査結果は、別紙（資料2）のとおりである。

2 学校関係者評価について

(1) 学校関係者評価委員会の実施

毎年5月と2月に開催している。5月の学校関係者評価委員会では、学校要覧やグランドデザイン等の資料を基に、学校の教育活動について説明し、今年度の教育活動について理解と協力を求めた。

2月には、教職員による学校評価結果、教育活動アンケート調査（保護者）結果について説明を行い、評価を実施するとともに改善点についての助言をいただいた。

2月の評価結果は、別紙（資料3）のとおりである。

(2) 学校関係者評価委員会等における情報交換

学校関係者評価委員には、毎月学校便りを配付したり、様々な行事に案内したりして、その都度情報交換を密に行ってきた。来年度も、今年度以上につながり合い、児童のためにより良い学校になるよう情報交換を行いたい。

3 教職員による自己評価結果

資料1 教職員による自己評価結果 （％表示） 13名

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない

上段：R 6		下段：R 7		A	B	C
1	気持ちのよい挨拶	8	83	9		
		73	27	0		
2	学級やたて割班活動による認め合う仲間づくり	18	82	0		
		55	45	0		
3	つづり方による生活でつながる仲間集団の育成	0	73	27		
		90	10	0		
4	自主的な学習習慣の確立（自主学习、読書）	27	73	0		
		0	100	0		
5	基礎的・基本的な内容の確実な定着（スキルタイムの充実、5問テスト）	64	36	0		
		60	40	0		

6	授業のユニバーサルデザイン化、主体的・対話的で深い学びによる授業改善	27	73	0
		55	45	0
7	めあてをもって取り組む体力づくり	36	55	9
		36	64	0
8	早寝・早起き・朝ご飯・朝トイレ運動の推進	58	42	0
		73	27	0
9	行事・特活が充実している・子どものための行事になっている	50	50	0
		73	27	0
10	教育課程や日課表が適切であり、円滑に実施できている。	75	25	0
		64	36	0
11	考え、議論するための多様で効果的な指導方法への改善が図られているか。	18	82	0
		36	64	0
12	人権・同和教育視点に立った学級づくりや学力保障等に努めている。	36	55	9
		40	60	0
13	差別の現実に関心、同和問題解決への姿勢確立のための研修ができている	50	42	8
		82	18	0
14	推進のための共通理解・校内支援体制ができている。	17	67	17
		82	18	0
15	特別な教育的ニーズを必要とする児童に適切な支援ができている。	17	67	17
		55	45	0
16	給食指導が適切に行われている。	33	59	8
		36	64	0
17	安全点検・安全指導が適切に行われている。	75	25	0
		73	27	0
18	いじめの早期発見・早期対応に向けてきちんと取り組んでいる。	75	25	0
		55	45	0
19	困難な条件のもとにある児童の把握と継続的な指導がなされている。	58	42	0
		55	45	0
20	適切な言葉遣いの指導がなされている。	34	58	8
		18	64	18
21	清掃を通じた心の指導がなされている。	25	67	8
		46	45	9
22	生活アンケートに基づき子どもに寄り添う指導がなされている	82	18	0
		82	18	0
23	望ましい校外生活指導がなされている	75	25	0
		64	36	0
24	総合的な学習の時間が充実している。	27	73	0
		50	50	0
25	I C T機器の活用が計画的にできている。	58	42	0
		64	36	0
26	校内研修が計画的・効果的に行われている。	75	25	0
		55	45	0
27	授業改善に向けて全教職員で取り組んでいる。	50	50	0
		45	55	0
28	参観日・懇談会、家庭訪問、個別懇談は適切である。	67	33	0
		55	45	0
29	P T Aの組織、活動、役員会運営は適切である。	58	42	0
		55	45	0

30	学校・家庭・地域の連携がよく図られている。	67	33	0
		73	27	0
31	地域の人材、自然、文化遺産等の活用ができています。	75	25	0
		82	18	0
32	校舎内外の美化・清掃がよくできています。	59	33	8
		55	45	0
33	施設・備品・教具・消耗品等が活用しやすい状態である。	67	33	0
		64	36	0
34	校務分掌の責任ある校務遂行ができています	50	50	0
		36	64	0
35	情報管理、諸帳簿の点検・保管、金銭の管理・経理ができています。	75	25	0
		82	18	0
36	教職員が互いに支え合い、気持ちよく働ける職場になっている。	50	33	17
		91	9	0
37	一人一人の良さを認め合い、励まし合える機会を多く持つ。(グランドデザインより)	42	58	0
		73	27	0
38	自らの安全や命を守る防災教育の推進			
		64	36	0

4 自己評価を受けての今後（来年度）の方向性

検討事項	内 容
1 挨拶	・ 委員会が中心となって全校に呼び掛ける。
2 つづり方	・ つづり方の職員研修の時間を取って、来年度の方向性を検討する。
3 生徒指導	・ 指導の仕方の差が出ないように、事前に共通理解を図り、指導の徹底、ルールへの遵守を行う。
4 給食指導	・ 職員会議や学校評価の内容を受けて、全校で統一した指導を行う。
5 学校改善	・ 教職員の人数が減り一人の負担が増しているが、互いにフォローや提案をしていく気持ちを持つ。 ・ 会議を精選しミライムのメッセージを活用するなど、業務負担軽減につなげる。
6 参観日	・ 参観日の回数を検討してほしい。 → 回数は他校と比べても多いとは言えない。時期を検討する。
7 働き方改革	・ 授業時数や学校教育などに支障がない程度に、学期末などの午後の授業をカットするなど、教職員の勤務時間内に可能な限り業務が行えるようにする。

5 保護者対象教育活動調査

資料2 保護者による教育活動アンケート調査 (%表示) ・ ・ 回答率 91 %

番号	質 問	R 6	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	ほとんど当てはまらない
		R 7				
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	59	34	7	0	
		53	33	13	1	
2	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	42	43	15	0	
		28	52	19	1	
3	子どもは、意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	32	42	17	9	
		17	50	23	10	
4	先生は、一人一人の子どもをよく理解しようとしている。	59	36	4	2	
		54	37	8	1	
5	先生は、子どものことについての相談に、適切に応じている。	62	28	8	2	
		57	36	6	1	
6	学校は、発達段階に応じて、人権尊重の意識を育てている。	67	29	4	0	
		48	43	8	1	
7	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	52	46	2	0	
		49	44	5	2	
8	学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	69	25	6	0	
		63	34	3	0	
9	学校は、地域や保護者の声をくみとる努力をしている。	62	30	8	0	
		48	41	10	1	
10	運動会や音楽会などの学校行事に、参加しやすくなっている。	88	12	0	0	
		71	25	4	0	
11	学校だよりや学級だより等は、効果的で役に立っている。	77	19	4	0	
		58	37	4	1	
12	学校が保護者に出す文書や電話の応対等は、適切である。	77	21	0	2	
		60	37	3	0	
13	学校は、防災教育に取り組んでいる。					
		53	44	3	0	

【保護者のご意見】

- いつもお世話になっています。クラス作りがしっかりできていて、友達とのトラブルや行き渋りも全くありません。学習だけでなく、先生や友達との繋がりを大切にするクラス作りができているお蔭だとありがたく思っています。中学校に上がっても友達との繋がりがしっかりしていると、困った時などお互い助け合えるので、今からも友達との繋がりを大切にするクラス作り学校作りを今のまま続けて下さるとありがたいです。卒業まであと少しですが、全員が楽しく過ごせたたくさん思い出を作ってほしいと思います。いつもありがとうございます。
- 子どもはとても楽しく学習できています。いつもありがとうございます。
- 子どもたちが、友達の気持ちを相手の立場に立って考えられるように、日頃から先生がしっかりと言葉掛けして下さっているのがよくわかります。子どもたち一人ひとりの良さを良く理解して下さっていて、子どもたちの自信に繋がるような言葉掛けや関わりをして下さっているのがありがたいです。うちの子は漢字を覚えるのが苦手ですが、覚えやすい出題の仕方など工夫して下さいのお蔭で

分覚えられるようになっていきます。子ども一人ひとりの特性や良い所をしっかりと理解して下さっているのが、何より親として嬉しくありがたく思っています。ご迷惑お掛けしますが、三学期もよろしくをお願いします。

主な要望・改善点に対して、今後の対応を確認しました

- 人権学習が多いと感じる。
- 参観日が終わっての人権学習、年1回夜にある人権学習の参加は、参加する、しないの希望制にしてほしい。しない場合は再受講などしないでほしい。

→ 北小学校ではこれまで、全ての教育活動の中心に人権・同和教育を位置付け、毎年の教育実践を積み重ねてきました。

人権・同和教育とは、「人権尊重の意識を高め、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決を目指す教育」のことで、自分の生き方を考えます。

同和問題だけでなく、いじめや障がい者への差別など、様々な人権問題についても、道徳科や総合的な学習の時間を中心に発達段階に応じて学習しています。

子供たちはこれらの学習を通して、自分や友達を大切にする心や実践力を養っています。友達を大切にしたい仲間づくりが少しずつ進んでいるところです。このような豊かな心を育てることで、将来子どもたちが幸せに生きていくことができると信じています。ただ残念ながら、まだまだ友達を大切にしない言動が見られるのも確かです。

保護者の皆様には、学校での学習内容を知っていただき、ご家庭でも子供たちの学びを共に支えていただくために、ご都合を付けてご参加をいただいているところです。お忙しい中を、本当にありがとうございます。

どうしても都合の付かない場合は、学校までご連絡ください。個別に対応してまいります。

- テキストや教科書で学べる勉強だけではなく全国的に問題化されているいじめ問題に対して引き続き積極的に取り組んでほしいです。
- 道徳を学ぶ機会を増やし他の人に対する思いやり、協力性、自主性、嫌だやめてほしい、それはいけない事だからやめるべきだ、など自己主張がしっかり出来る様学校でも教育してほしいです。
- 見えない所で嫌な思いをしている子たちがいて、見えない所で言えず泣いて耐えている子たちがいます。そういった道徳を学ぶ事によって今後子供たちの将来が豊かになる事、他を幸せにする喜びを感じる事が生き甲斐になる事を願っています。

→ 先日、人権・同和教育地域参観日で見いただいた各学年の授業やなかま集会では、このような思いやりを育てる取組でしたが、まだ十分ではないと考えています。道徳の時間だけでなく、集団で取り組む特別活動や日々の教科学習の場面においても、互いの良さを認め合い、協力し合う経験を積み重ねてまいります。

また、思いやりを育むことと並行して、自分の気持ちを適切に伝えたり、いけないことに対して勇気を持って声を上げたりできる力を育てることに注力してまいります。

さらに、担任だけでなく全教職員がそれぞれの場面で子供たちのサインを逃さないよう情報を共有して、組織的に対応してまいります。日頃の観察や月に1回行ういじめアンケートの活用の他に、スクールカウンセラーとの連携も視野に入れます。

今後も、保護者の方や地域の方のご協力をいただきながら、自分や友達を大切にする心を育てていきます。よろしくお願いいたします。

- 授業中に騒がしいことが多いようです。子どもが言う事なので真意や詳細は分かりませんが、先生も大変だとは分かっていますが、改善出来ればいいのかな…と思います。

→ 落ち着いた環境の中で学習をするというのは子供たちの学力保障上、大変重要なことだと考えています。これについては、毎日の学習状況をしっかりと把握するとともに、全校で学習規律の徹底に向けて取り組みます。

- 学業に関係ないルールやこだわりが多すぎるように思う。先生のさじ加減で去年は良かった事が今年はダメだったり またはその逆も。ルールや決まりを守るのは大切な事だと思うが、ただの堅苦し

いルールや校則で縛りすぎるのもどうかと思う。

→ 学校での決まりについては、それが子供たちの成長や安全な集団生活にどのようにつながるかという教育的意義を常に立ち返り、時代に沿ったものになるよう検討を行ってまいります。また、全教職員で共通理解を図り、指導のばらつきによって子供たちが戸惑うことのないよう努めてまいります。

6 学校関係者評価

資料3 学校関係者評価結果 (％表示)

4…とても当てはまる

3…どちらかという当てはまる

2…どちらかという当てはまらない 1…全く当てはまらない

< 市内共通項目 >		4	3	2	1
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	88	12	0	0
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	75	25	0	0
3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	63	37	0	0
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	63	37	0	0
5	学校関係者評価委員会は、適切に運営されているか。	75	25	0	0
< 本校の評価項目 >		4	3	2	1
6	児童は、友達となかよく元気に活動しているか。	63	37	0	0
7	教職員は、生き生きと教育活動に取り組んでいるか。	88	12	0	0
8	学習や生活環境の充実が図られ、点検・整備・活用が適切に行われているか。	88	12	0	0

【1年間を通しての感想・提言】

- なかま集会での5年生の人権劇がすばらしかった。ストーリーの展開が分かりやすかった。毎年5年生がしているのがいいシステムになっていてこれが北小の伝統となっている。感想交流も頑張っていた。
- 防災については、想定を考えた上で今後も積極的に取り組んで欲しい。
- 参観授業中での発表は、少し声が小さい。4月から声を出す訓練をすると良い。
- 校内環境の点検は教職員の手でほぼ行い、早めの修繕ができています。
- 家庭科の補助をしていて、縫う位置について意見が分かれた。統一した方法を示していただくとありがたい。
- 参観日と消防の日が重なった。父親が参加できない。
- 教育にネガティブな見方をする傾向がある中で、教員はよく頑張っている。北小の保護者も安定した信頼を寄せていると思う。和やかな北小は、とても好ましく思える。先生方のお陰です。